

第 1 期「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の検証について

1 趣旨

本年度末に計画期間を満了する「第 1 期総合戦略」について、進捗状況を検証し、各施策・事業の取組効果を分析した上で、必要な改善等を行うことにより、「第 2 期総合戦略」に、より効果的・効率的な取組を盛り込む。

2 基本目標及び各施策・事業の K P I に係る評価

《目標進捗率》5 年計画 (H27～R1) のため、4 年目 (H30) は 80%進捗を基本とする。
 《評価の基準》★★★★★…目標達成済、★★★★…計画を上回る、★★★…概ね計画どおり (前後 10%)、★★…計画を下回る、★…大幅な遅れ

(1) 産業振興による雇用の創出

目 標	◎若年者 6,000 人の雇用の場を創出 企業誘致や中小企業の成長支援などの取組を通じて、若年者 6,000 人超の雇用の場を創出し、目標を達成した (★★★★★)。							
	■若年者の雇用の場の創出数 (累計) (単位: 人)							
	年度	H26 (基準)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標)	
人数	—	972	2,647	4,850	6,269	6,000		
各施策 ・事業	■ K P I 進捗状況 (上段: 指標数、下段: 割合%)							
	施策内訳		★×5	★×4	★×3	★×2	★×1	合計
	産業振興による雇用の創出		15	16	18	10	10	69
			(71.0)		(29.0)		(100)	
	内 訳	①雇用を生み出す産業力の強化	5	3	6	2	2	18
				(77.8)		(22.2)		(100)
②地域の雇用を支える中堅・中小企業の応援		6	4	6	2	1	19	
		(84.2)		(15.8)		(100)		
	③地域の新たな担い手となる元気な農林水産業の育成	3	5	4	3	5	20	
		(60.0)		(40.0)		(100)		
	④幅広い産業・地域を活性化させる観光の振興	1	4	2	3	2	12	
		(58.3)		(41.7)		(100)		
集落営農法人連合体数や経営面積など「③地域の新たな担い手となる元気な農林水産業の育成」、及び延べ宿泊者数や観光消費額など「④幅広い産業・地域を活性化させる観光の振興」の K P I の進捗が遅れているものの、全体的には概ね順調に進捗している。								

評 価	<p>各施策・事業のK P I は概ね順調に進捗しており、目標の「若年者6,000人の雇用の場を創出」は達成した。</p> <p>一方で、依然、若者や女性の転出超過は顕著なため、Society5.0などの新しい時代の流れも踏まえ、新産業の創出など若者等を惹きつける多様な雇用の場づくりをさらに重点的に進める必要がある。</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 人材の定着・還流・移住の推進

目 標	<p>◎転出超過数を半減</p> <p>近年、転出超過は拡大傾向にあり、基準の平成26年よりさらに悪化し、目標達成は厳しい状況にある(★)。</p> <p>■転出超過数 (単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">H26 (基準)</td> <td style="text-align: center;">H27</td> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">R1 (目標)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人数</td> <td style="text-align: center;">3,647</td> <td style="text-align: center;">4,630</td> <td style="text-align: center;">3,801</td> <td style="text-align: center;">4,093</td> <td style="text-align: center;">4,140</td> <td style="text-align: center;">3,647を半減</td> </tr> </table> <p>〈参考:転出超過数(外国人含む)〉 (単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">年</td> <td style="text-align: center;">H26 (基準)</td> <td style="text-align: center;">H27</td> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">R1 (目標)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人数</td> <td style="text-align: center;">3,472</td> <td style="text-align: center;">4,291</td> <td style="text-align: center;">3,375</td> <td style="text-align: center;">3,595</td> <td style="text-align: center;">3,377</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </table>							年	H26 (基準)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標)	人数	3,647	4,630	3,801	4,093	4,140	3,647を半減	年	H26 (基準)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標)	人数	3,472	4,291	3,375	3,595	3,377	—																												
年	H26 (基準)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標)																																																									
人数	3,647	4,630	3,801	4,093	4,140	3,647を半減																																																									
年	H26 (基準)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標)																																																									
人数	3,472	4,291	3,375	3,595	3,377	—																																																									
各施策・事業	<p>■K P I 進捗状況 (上段:指標数、下段:割合%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">施策内訳</th> <th style="text-align: center;">★×5</th> <th style="text-align: center;">★×4</th> <th style="text-align: center;">★×3</th> <th style="text-align: center;">★×2</th> <th style="text-align: center;">★×1</th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">人材の定着・還流・移住の推進</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">(77.8)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(22.2)</td> <td style="text-align: center;">(100)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">内 訳</td> <td style="text-align: center;">⑤やまぐちへの定着促進</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">(88.9)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(11.1)</td> <td style="text-align: center;">(100)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">⑥やまぐちへのひとの還流・移住の推進</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">(66.7)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(33.3)</td> <td style="text-align: center;">(100)</td> </tr> </tbody> </table> <p>Uターン就職学生数や企業の本社機能の移転・拡充件数など「⑥やまぐちへのひとの還流・移住の推進」のK P I の進捗が若干遅れているものの、全体的には概ね順調に進捗している。</p>							施策内訳		★×5	★×4	★×3	★×2	★×1	合計	人材の定着・還流・移住の推進		3	6	5	2	2	18			(77.8)			(22.2)		(100)	内 訳	⑤やまぐちへの定着促進	1	5	2	0	1	9			(88.9)			(11.1)		(100)		⑥やまぐちへのひとの還流・移住の推進	2	1	3	2	1	9			(66.7)			(33.3)		(100)
施策内訳		★×5	★×4	★×3	★×2	★×1	合計																																																								
人材の定着・還流・移住の推進		3	6	5	2	2	18																																																								
		(77.8)			(22.2)		(100)																																																								
内 訳	⑤やまぐちへの定着促進	1	5	2	0	1	9																																																								
			(88.9)			(11.1)		(100)																																																							
	⑥やまぐちへのひとの還流・移住の推進	2	1	3	2	1	9																																																								
		(66.7)			(33.3)		(100)																																																								
評 価	<p>各施策・事業のK P I は概ね順調に進捗しているものの、目標の「転出超過数を半減」の達成は厳しい状況にある。</p> <p>転出超過は全国的な傾向で、我が国の構造的な問題である東京一極集中は加速し、近年の好景気がこの流れに拍車をかけており、進学・就職時の若者流出が転出超過の主な要因となっている。</p> <p>このため、本県への人の流れを強化する県施策の取組の充実を図るとともに、国に対して、東京一極集中の是正に向けた抜本的な対策を求めていく必要がある。</p>																																																														

(3) 結婚・出産・子育て環境の整備

目 標	<p>◎合計特殊出生率を「1.65」に向上 一旦は「1.60」まで上昇したものの、政策効果がまだ十分に発現しておらず、目標達成は厳しい状況にある（★）。</p> <p>■合計特殊出生率 (単位：人)</p> <table border="1"> <tr> <th>年</th> <th>H26 (基準)</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1 (目標)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1.54</td> <td>1.60</td> <td>1.58</td> <td>1.57</td> <td>1.54</td> <td>1.65</td> </tr> </table>							年	H26 (基準)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標)	人数	1.54	1.60	1.58	1.57	1.54	1.65																	
	年	H26 (基準)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標)																															
	人数	1.54	1.60	1.58	1.57	1.54	1.65																															
各施策 ・事業	<p>■ K P I 進捗状況 (上段：指標数、下段：割合%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施策内訳</th> <th>★×5</th> <th>★×4</th> <th>★×3</th> <th>★×2</th> <th>★×1</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">結婚・出産・子育て環境の整備</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>24 (100)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内 訳</td> <td>⑦子育てしやすい環境づくり</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>18 (100)</td> </tr> <tr> <td>⑧次代を拓く教育の充実</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6 (100)</td> </tr> </tbody> </table> <p>「⑦子育てしやすい環境づくり」及び「⑧次代を拓く教育の充実」のいずれの取組も順調に進捗している。</p>							施策内訳		★×5	★×4	★×3	★×2	★×1	合計	結婚・出産・子育て環境の整備		7	8	6	1	2	24 (100)	内 訳	⑦子育てしやすい環境づくり	6	4	5	1	2	18 (100)	⑧次代を拓く教育の充実	1	4	1	0	0	6 (100)
	施策内訳		★×5	★×4	★×3	★×2	★×1	合計																														
	結婚・出産・子育て環境の整備		7	8	6	1	2	24 (100)																														
	内 訳	⑦子育てしやすい環境づくり	6	4	5	1	2	18 (100)																														
⑧次代を拓く教育の充実		1	4	1	0	0	6 (100)																															
評 価	<p>各施策・事業の K P I は順調に進捗しているものの、目標の「合計特殊出生率を「1.65」に向上」の達成は厳しい状況にある。</p> <p>全国の合計特殊出生率は3年連続で低下しており、出生数も3年連続で100万人を下回っている。未婚化、晩婚化、晩産化の進行や経済的理由など様々な要因が影響する一方で、対策効果が現れるまでに長い時間を要する。</p> <p>少子化は全国共通の課題であり、国と適切な役割分担のもと必要な対応を求め、県として長期的な視点に立ち、総合的な取組を粘り強く進めていく必要がある。</p>																																					

(4) 持続可能で元気な地域社会の形成

目 標	<p>◎中山間地域を抱える全18市町で元気生活圏づくり推進方針を策定 平成29年度に全18市町で元気生活圏づくり推進方針を策定し、目標を達成した（★★★★★）。</p> <p>■元気生活圏づくり推進方針の策定市町数 (単位：市町)</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H26 (基準)</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1 (目標)</th> </tr> <tr> <td>市町数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>7</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> </table>							年度	H26 (基準)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標)	市町数	—	—	7	18	18	18
	年度	H26 (基準)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標)														
	市町数	—	—	7	18	18	18														

		■ K P I 進捗状況 (上段:指標数、下段:割合%)						
		施策内訳	★×5	★×4	★×3	★×2	★×1	合計
各施策・事業	内訳	持続可能で元気な地域社会の形成	5	4	11	6	2	28 (71.4) (28.6) (100)
		⑨にぎわいや交流を生み出す「まち」の活性化	1	1	3	1	0	6 (83.3) (16.7) (100)
		⑩活力ある中山間地域づくりの推進	2	2	2	2	1	9 (66.7) (33.3) (100)
		⑪安心して暮らせる地域づくり	1	1	6	3	1	12 (66.7) (33.3) (100)
		⑫地域連携による経済・生活圏の形成	1	0	0	0	0	1 (100.0) (0.0) (100)
		中山間地域支援活動の延べ参加者数や農林漁家民宿数など「⑩活力ある中山間地域づくりの推進」、及び在宅療養支援診療所数など「⑪安心して暮らせる地域づくり」のK P Iの進捗が若干遅れているものの、全体的には概ね順調に進捗している。						
評価	<p>各施策・事業のK P Iは概ね順調に進捗しており、目標の「全18市町で元気生活圏づくり推進方針を策定」も達成した。</p> <p>人口減少・少子高齢化の進展は、中山間地域をはじめとして地域社会に多大な影響を与えるため、持続可能な地域社会の形成に向けた取組を着実に推進するとともに、新たな視点の取組を進めていく必要がある。</p>							

3 第1期総合戦略の検証と第2期総合戦略への反映

(1) 第1期総合戦略の進捗等に対する検証（総評）

人口減少の克服に向けて、実効性のある地方創生の取組を進めるため、平成27年度から5ヶ年計画の総合戦略を策定し、「社会減の流れを断ち切る」「少子化の流れを変える」「住みよい地域社会をつくる」という基本的な施策の方向のもと、「(1)産業振興による雇用の創出」「(2)人材の定着・還流・移住の推進」「(3)結婚・出産・子育て環境の整備」「(4)持続可能で元気な地域社会の形成」を基本目標に掲げ、関連する施策を展開してきた。

こうした中、4年目が終了した昨年度末において、「(1)産業振興による雇用の創出」及び「(4)持続可能で元気な地域社会の形成」については、当初の目標を達成したところであるが、人口減少・少子高齢化の進展が社会生活に及ぼす影響に鑑み、不断の取組を進めていく必要がある。

一方、基本目標の「(2)人材の定着・還流・移住の推進」については、各施策・事業のK P I は概ね順調に進捗しているものの、全国的な転出超過傾向の中、東京一極集中の加速や近年の好景気が影響し、依然として若者や女性の転出超過が顕著であり、「転出超過数を半減」するという目標の達成は厳しい状況にある。

また、基本目標の「(3)結婚・出産・子育て環境の整備」についても、各施策・事業のK P I は順調に進捗しているものの、少子化は全国共通の課題で、未婚化、晩婚化、晩産化の進行や経済的理由など様々な要因が影響する一方、対策効果が現れるまでに長い時間を要することなどから、「合計特殊出生率を「1.65」に向上」するという目標の達成は厳しい状況にある。

こうしたことから、第2期総合戦略の策定にあたっては、現行施策の改善等を含めたより実効性の高い取組を盛り込むことに加え、目標の達成が厳しい状況の要因として、東京一極集中や少子高齢化など我が国の構造的問題が大きく影響していることから、国に対しても、一層大胆な対策を求めていく必要がある。

区分	★×5	★×4	★×3	★×2	★×1	合計
各施策・事業のK P I 〈全体〉	30	34	40	19	16	139
		(74.8%)		(25.2%)		(100%)

(2) 第2期総合戦略への反映（検証を踏まえた主な取組観点）

- 「県外流出する若者・女性に焦点」をあてた実効性の高い取組が必要である。Society5.0などの新しい時代の流れも踏まえ、若者・女性が希望する『しごと』や『まなび』、住みたくなる『まち』づくりが必要である。
- 「本県への新しい『ひと』の流れを強化」するため、国の施策とも連携しながら、従来以上に踏み込んだ効果的な取組が必要である。
- 結婚・出産・子育て環境の整備については、国との適切な役割分担のもと、長期的な視点に立ち、従来からの取組を含め総合的に粘り強く進めていくことが求められる。
- 人口減少・少子高齢化の進展に伴い、担い手不足等の産業面や生活面に影響が生じていることから、「持続可能な地域社会づくり」に向けた取組を着実に推進するとともに、未来技術の活用など時代に応じた新たな視点の取組を進めていく必要である。

